

PSカード (Port Security Card) 導入について

国際埠頭の
入場に

平成24年 **7月** から

ポートセキュリティカード

PSカード が必要となります。

【 PSカード導入の背景について 】

- 平成24年7月(予定)から、国際埠頭施設の保安対策のためにゲート通過には、3点確認 (本人確認、所属確認、目的確認)が必須となり、ゲートをスムーズに通過するには、PSカード(ポートセキュリティカード)が必要となります。
- すでに、全国5か所(横浜港、名古屋港、神戸港、大阪港、北九州港及び博多港)では、PSカードを使った「出入管理情報システム」が導入され、その実施に向けて、準備が進められています。
- 国際条約(改正SOLAS条約)にもとづくもので、ターミナルゲートにおけるセキュリティ対策として、順次、全国の国際埠頭で実施されていきます。
- また、「入退管理システムの導入」とは別に、「本人確認の厳密な運用」も求められており、「PSカードの発行システム」の導入が進むものと思われます。

【 PSカードについて 】

狭義には、「国が発行するカード」を言うものですが、広義には、国際埠頭施設の入場に際して、「本人確認をするためのカード」という意味で、使用されています。

「PSカード」には、次の要件を満たすことが、求められています。

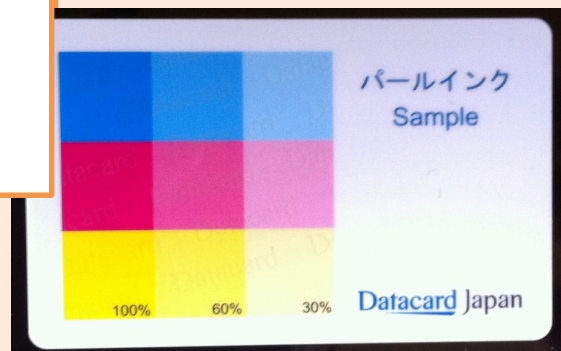
1) 偽造、2) 複製や 3) 改ざんができないもので、作成すること。

※ホログラム箔加工やパール印刷などが推奨されています。

カード作成イメージ<パール印刷>



＝パール印刷＝
斜めにかざすと、
地紋が浮かび
あがります。



PSカード(Port Security Card)発行システムのご紹介

わたくしどもでは、4つの方法で「PSカード発行」をご提供しています。

(1) もっとも安価な「PSカード発行システム」

プラスチックカードプリンター SD260



パール印刷(地紋入り)カード

改ざんされにくい特殊印刷
(パール印刷)にて、地紋を印刷します。



LOGO LOGO L
LOGO LOGO L
LOGO LOGO L

概算価格 150万円～ カードの枚数や機器構成によって、変わってきます。

(2) プラスチックカードプリンター + ①ホログラム箔

(3) プラスチックカードプリンター + ②デュラフィルム

- 1) 白い無地カードに、
- 2) プラスチックカードプリンターで、印刷します。
- 3) 印刷したカードの上に
 - ①<オリジナル>ホログラム箔を
 - ②<オリジナル>ロゴ入りフィルムを貼り合わせて、カードを作成します。
- 4) 「SP75Plus」には、フィルムを貼り合わせる機能が装備されています。



プラスチックカードプリンターSP75Plus

概算価格 450万円～

(4) すべて、お任せ。 受託印刷プラン

- 1) パール印刷をしたカードに
- 2) プラスチックカードプリンターで、印刷をいたします。
「(1)もっとも安価なPSカード発行システム」を使用して、受託印刷を承ります。